

歌手加藤登紀子が25日、

漫画「はだしのゲン」の作者、故中沢啓治さんの未発表の詩を曲にしたシングルCD「広島 愛の川」をリリースする。川から海へと流れる水のように、平和への思いを広げようという中沢さんのメッセージを、オーケストラの演奏に乗せて壮大に歌う。7月27日には、広島市中区での広島交響楽団とのジョイントコンサートで披露する。

作品は、詩に感銘を受けた東京在住の作曲家がメロディーを付け、中沢さんがファンだった加藤に届けられた。加藤は「シンブルな詩が曲に乗ることで、より深い思いになつていく。詩と曲の奇跡の巡り合わせ」と自ら歌うことを熱望。「歌うほど気持ちが高まる」と手応えを感じている。

カップリング曲は「語り

25日シングルリリース

来月広響とコンサート

加藤登紀子 平和祈る歌声

中沢啓治さんの詩を曲に



「中沢さんの詩と出合えてよかった」と語る加藤登紀子 (撮影・坂田一浩)

ヴァージョン」として、加藤が「はだしのゲン」の作品中の言葉を抜き出して再構成。核時代の始まりや今なお続く放射線被害の怖さを切々と訴える。「中沢さんの世界をより強く感じてもらいたかった」。ジャケットは、ゲンのイラストにした。広響との「愛と平和のコンサート」は金聖喜が指揮。「愛の川」のほか、代表曲「知床旅情」や「百万本のバラ」、中森明菜に提供した「難破船」などを予定する。「オーケストラをバックに歌うのは、大きな翼の上に乗る感じ。歴史の重み、自然の雄大さを表現したい」と心待ちにする。

(藤村潤平)